Panasonic®

取扱説明書
Windows Vista® Business 入門ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-Y7/CF-W7/CF-T7/CF-R7 シリーズ

本書は、Windows Vistaを初めてお使いになる方のために、基本的な操作を説明したものです。
必要に応じて、Windows XPとの比較も説明しています。

 は画面で見るマニュアルのマークです。

●初期設定やパソコン本体の操作については、次の説明書をご覧ください。
・初期設定：『取扱説明書 準備と設定ガイド』
・パソコン本体の操作：『取扱説明書 基本ガイド』および画面で見る 『操作マニュアル』

●Windows Vistaの詳しい説明については、Windowsの「ヘルプとサポート」もご覧ください。
（➜ 13 ページ）

●本書では「Windows Vista® Business Service Pack 1」を「Windows Vista」、「Microsoft® Windows® XP Professional 正規版 Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」を「Windows XP」と表記します。

はじめに

Windows Vistaとは

Windows Vistaとは、Windows XPを発展させたOS（オペレーティングシステム）です。
Windows XPと比べ、デスクトップ画面などの表示が見やすくなったり、セキュリティ機能が強化されたりしています。

使いやすさ

●デスクトップのアイコンの視覚的効果がアップし、見やすくなっています。

●ファイルなどの検索機能が強化されています。

視覚的なアイコン

快適さ

●終了のしかたに「スリープ」が追加され、終了前の作業に早く戻ることができます。

●パソコンの動作速度の低下を防ぐ機能により、快適な作業を行えます。

スリープボタン

セキュリティ

●スパイウェアやウイルスの防止対策が強化され、パソコンをより安全に使うことができます。

●暗号化機能が強化され、第三者による不正使用防止に役立ちます。

ネットワーク

●他のパソコンや周辺機器とのネットワーク設定が便利になっています。周辺機器とWindows Vistaとの対応については周辺機器の各メーカーにお問い合わせください。

本書の説明について

クリック操作について
操作によっては、メニューやボタンの上にポインターを数秒間合わせることでクリックと同じ結果になるものがあります。（例：[スタート]メニューの[すべてのプログラム]をクリックする場合）
本書ではこのような操作も「クリック」と表記します。

「ユーザーアカウント制御」画面について
Windows Vistaでは、操作中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合がありますが、本書ではこの操作を省略しています。（➜ 5ページ）

画面表示について
本書では、Windows Aeroを設定していない場合の画面表示で説明しています。

Windowsにログオンする

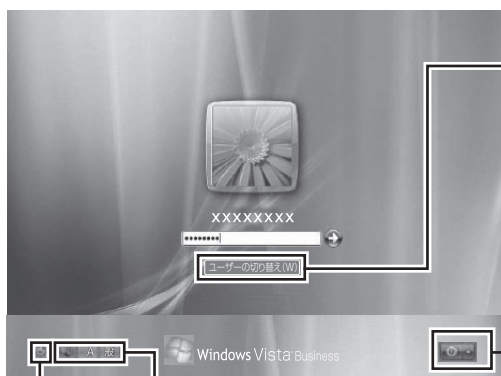
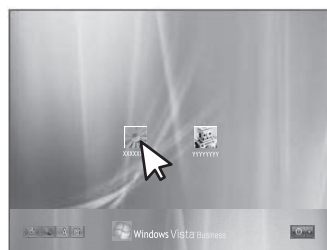
操作を始めるには、パソコンの電源を入れ、Windows Vistaにログオンします。
作成したユーザーアカウントの数やパスワードの設定/未設定によってログオン方法が異なります。

ユーザーアカウントが1つで
パスワードを設定していない場合

ユーザーアカウントが1つで
パスワードを設定している場合

ユーザーアカウントが複数の場合

パスワードを入力し、**をクリックする。**
「Windows のセットアップ」（お買い上げ後すぐに行う設定）またはコントロールパネルの[ユーザーアカウント]で設定したパスワードです。

ログオンするユーザーのアイコンをクリックする。

ユーザーアカウントが複数の場合、ここで切り替えることができます。

パスワードを設定している場合

文字入力のしかたを選択できます。（➡ 30ページ）

パソコンを使いやすくする機能を選択できます。
詳しくは[コントロールパネル]（➡ 33ページ）の[コンピュータの簡単操作]をクリックしてご覧ください。

ログオンせずに終了する場合

パソコンの電源を切ります（シャットダウン）。

[再起動][スリープ][休止状態][シャットダウン]の中から選択します。

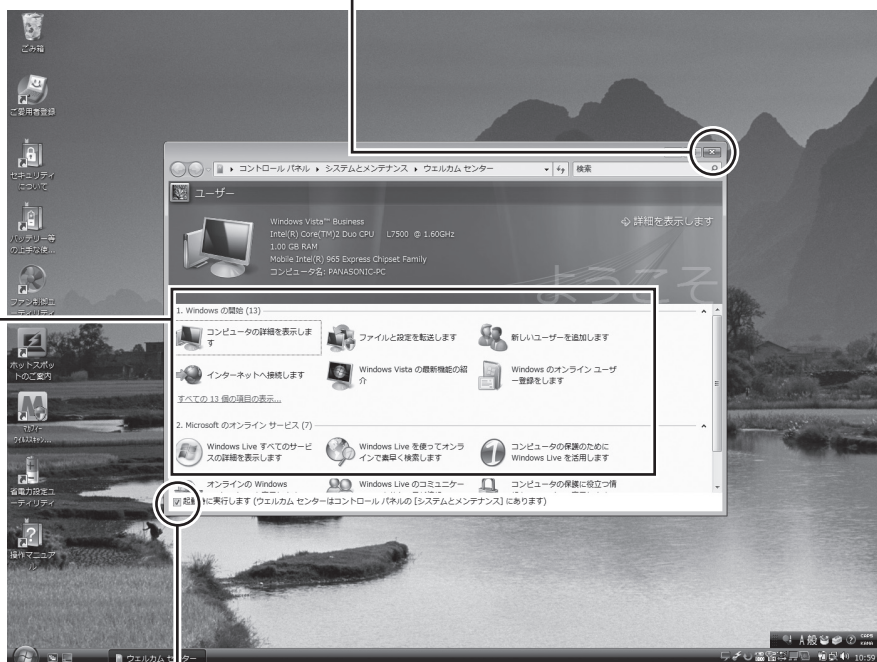
ログオン完了（デスクトップ画面）

パスワードを設定していない場合

「ウェルカムセンター」と「ユーザーアカウント制御」画面

「ウェルカムセンター」について

ログオンすると、「ウェルカムセンター」が表示されます。
インターネットへの接続やユーザーアカウントの追加などをすぐに設定する場合は、必要な項目をクリックし、画面の指示に従ってください。

すぐに設定しない場合はここをクリックしてください。
ウィンドウが閉じます。
「ウェルカムセンター」は後から表示することができます。([コントロールパネル]-[Windowsの開始])

画面は一例です。

チェックボックスをクリックして ✓マークを外すと、ログオン時に「ウェルカムセンター」が表示されなくなります。

メモ

ログオン後は「ウェルカムセンター」以外に、「コンピュータのセキュリティを確認してください」などのメッセージが通知領域に表示される場合がありますが、故障やエラーではありません。

「ユーザーアカウント制御」画面について

Windows Vistaでは、システムの変更やプログラムの削除など、重要な操作を行うときに「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

管理者のユーザーアカウントでログオンしている場合は
実行した操作であることを確認の上、[続行]をクリックして次の操作に進んでください。

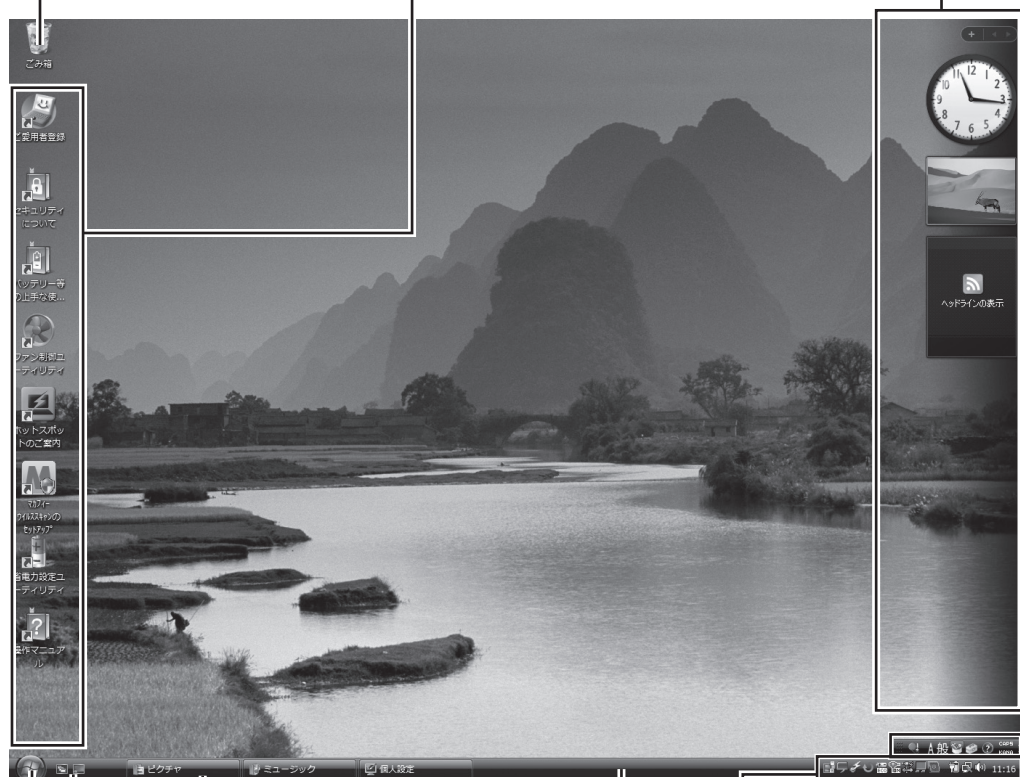
標準ユーザーでログオンしている場合は
管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

デスクトップ画面を使う

デスクトップ画面の表示について

ごみ箱
不要になったファイルやフォルダーなどを削除します。

プログラムやフォルダーのアイコン
ダブルクリックすると、プログラムが起動したりフォルダーが開いたりします。

サイドバー
（ ➡ 8ページ）

タスクバーボタン
起動中のプログラムや開いているフォルダーの名前が表示されます。クリックするとプログラムやフォルダーのウィンドウが手前に表示されます。

通知領域
時刻、電源、印刷、メールの受信など、さまざまな状態を通知します。

言語バー
（ ➡ 30ページ）

クイック起動ツールバー
クリックすると各プログラムを起動できます。

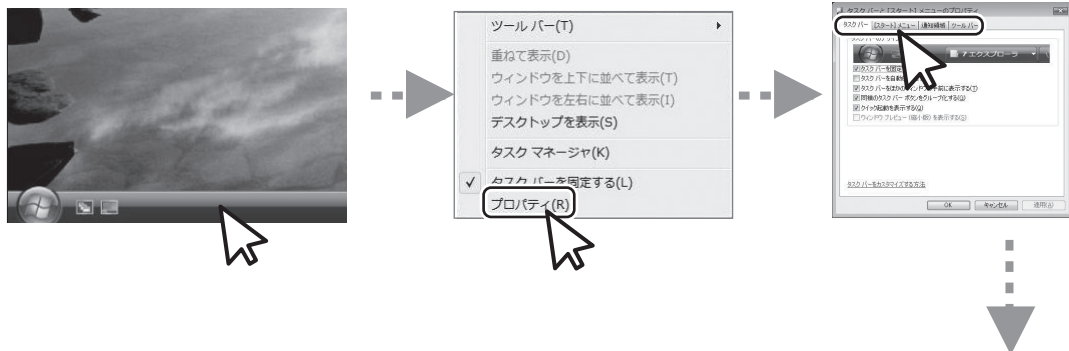
タスクバー
タスクバーには、（スタート）ボタン、クイック起動、タスクバーボタン、通知領域が表示されています。
（ ➡ 次ページ）

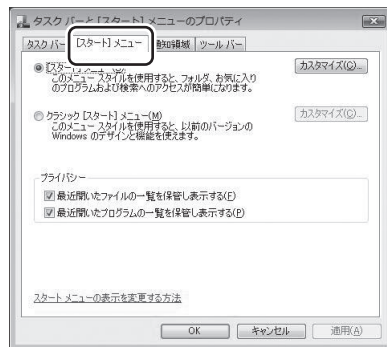
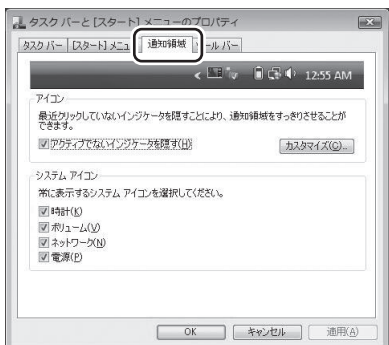
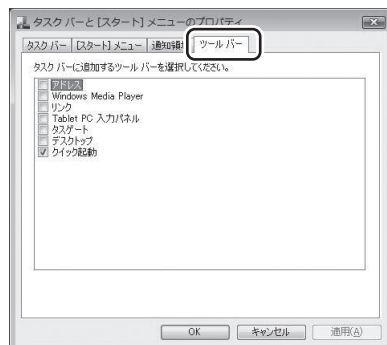
（スタート）ボタン
[スタート]メニューを表示します。
（ ➡ 10 ページ）

タスクバーを設定する

1 タスクバー上のボタンなどがない場所を右クリックする。

2 [プロパティ]をクリックする。

3 設定したい項目をクリックする。
画面の指示に従って設定してください。

タスクバー
タスクバー全般の設定を行います。

[スタート]メニュー
[スタート]メニューのデザインを以前のWindowsのバージョンに変えることができます。

通知領域
通知領域に表示させるアイコンの設定などを行います。

ツールバー
タスクバーに表示する機能を追加します。

サイドバーを設定する

サイドバーとは、ガジェットと呼ばれる時計やスライドショーなどの小さなプログラムを、簡単に起動できるように表示させておく垂直バーのことです。
ガジェットを増やしたり、別のガジェットに変えることができます。

サイドバーを開始するには

（スタート）-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[Windowsサイドバー]をクリックする。

（スタート）ボタンについては10ページをご覧ください。

パソコン起動時、常にサイドバーを開始するには
通知領域内のサイドバーアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。[Windows 起動時にサイドバーを開始します]をクリックし、チェックマークを付けてください。

サイドバー開始時に表示されるガジェット（一例）

時計
デザインを変えたり、世界各地の時刻に合わせたりすることができます。

スライドショー
いろいろな画像を連続で表示します。

フィードヘッドライン
最新のニュースなどのヘッドラインを表示します。
（インターネットに接続できる状態のときのみ内容が表示されます。）

ガジェットを閉じる/設定する

ガジェットにポインターを合わせると、右側に操作ボタンが表示されます。

ガジェットを閉じます。（再び表示するには ➜ 次ページ）

ガジェットの設定画面が表示され、デザインの変更などができます。

サイドバーの表示/非表示を切り替える

サイドバーを開始した後、非表示にするには、サイドバー内のガジェットが表示されていない場所を右クリックし、[サイドバーを閉じる]をクリックします。
表示するには、通知領域内のサイドバーアイコンをクリックします。

ガジェットを追加する

1 サイドバーの上部にある操作ボタンの［+］をクリックする。

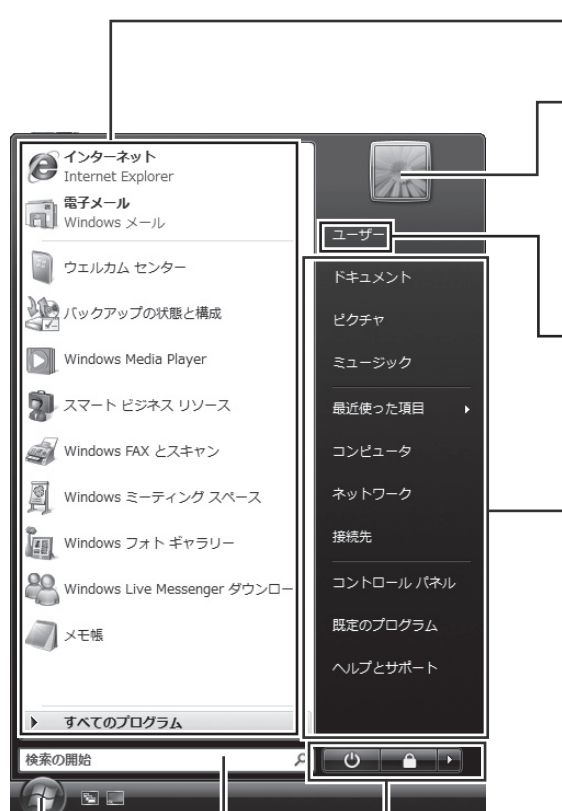
2 追加するガジェットを選び、サイドバーの中にドラッグアンドドロップする。

[詳細を表示する]をクリックすると、各ガジェットのアイコンをクリックするたびに、説明が表示されます。

ガジェットが表示されないときは

ガジェットの数が多くなると、追加したガジェットがサイドバー内に表示されなくなります。
その場合は、◀ ▶ ボタンをクリックし、目的のガジェットを表示させてください。

[スタート]メニューを使う

[スタート]メニューについて

インストールされているプログラムが表示されます。(➡ 次ページ)

下の[ドキュメント]や[ピクチャ]などにポインターを合わせると図柄が変わります。Windows Aero (➡ 39ページ) のときは、アイコンが飛び出して見えます。
クリックすると、ユーザーアカウントの変更画面が表示されます。

ログオンしたユーザー名が表示されます。クリックすると、そのユーザーが使用できるフォルダーなどが表示されます。

ドキュメント、ピクチャ、ミュージック
文書や画像など、各フォルダーに保存されたファイルが表示されます。(➡ 26 ページ)

最近使った項目
最近使ったファイルが表示されます。

コンピュータ
各ドライブにアクセスします。ドライブの残り容量なども確認できます。

ネットワーク
ネットワーク上にあるパソコンや周辺機器を確認できます。

接続先
利用可能なネットワーク（無線LAN、ダイヤルアップなど）が表示されます。

コントロールパネル
プログラムの削除や電源の設定など、パソコンの動作を設定します。(➡ 33 ページ)

既定のプログラム
インターネット、画像の閲覧、音楽の再生などに使うプログラムを指定します。

ヘルプとサポート
Windows の操作がわからないときや、用語を調べたいときなどに使います。
(➡ 13 ページ)

スリープ、ロック、終了メニュー表示用ボタン
(➡ 14 ページ)

検索ボックス
プログラムやファイルなどを検索できます。
(➡ 12 ページ)

（スタート）ボタン
クリックすると[スタート]メニューが表示されます。

プログラムを起動する

目的のプログラムが[スタート]メニューに表示されている場合

目的のプログラムをクリックする。

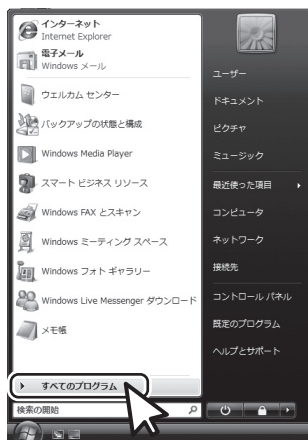
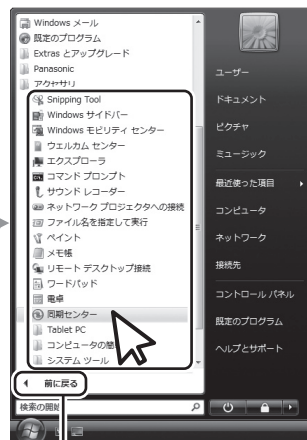
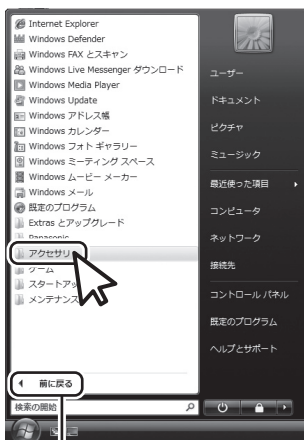
よく使うプログラムは追加することができます。
下記の方法でプログラムを表示させ、右クリックした後、[[スタート]メニューにアイコンを追加]をクリックしてください。

目的のプログラムが[スタート]メニューに表示されていない場合

1 [スタート]メニューの[すべてのプログラム]をクリックする。

2 すべてのプログラム内容が表示されたら

- **●目的のプログラムをクリックする。**
  プログラムが起動します。
- **●フォルダーをクリックする。**
  フォルダーに登録されているプログラムが表示されます。
  目的のプログラムをクリックしてください。

[スタート]メニュー（例）

すべてのプログラムの表示（例）　フォルダー内の一覧（例）

前の表示に戻るには[前に戻る]をクリックします。

Windows XPでは

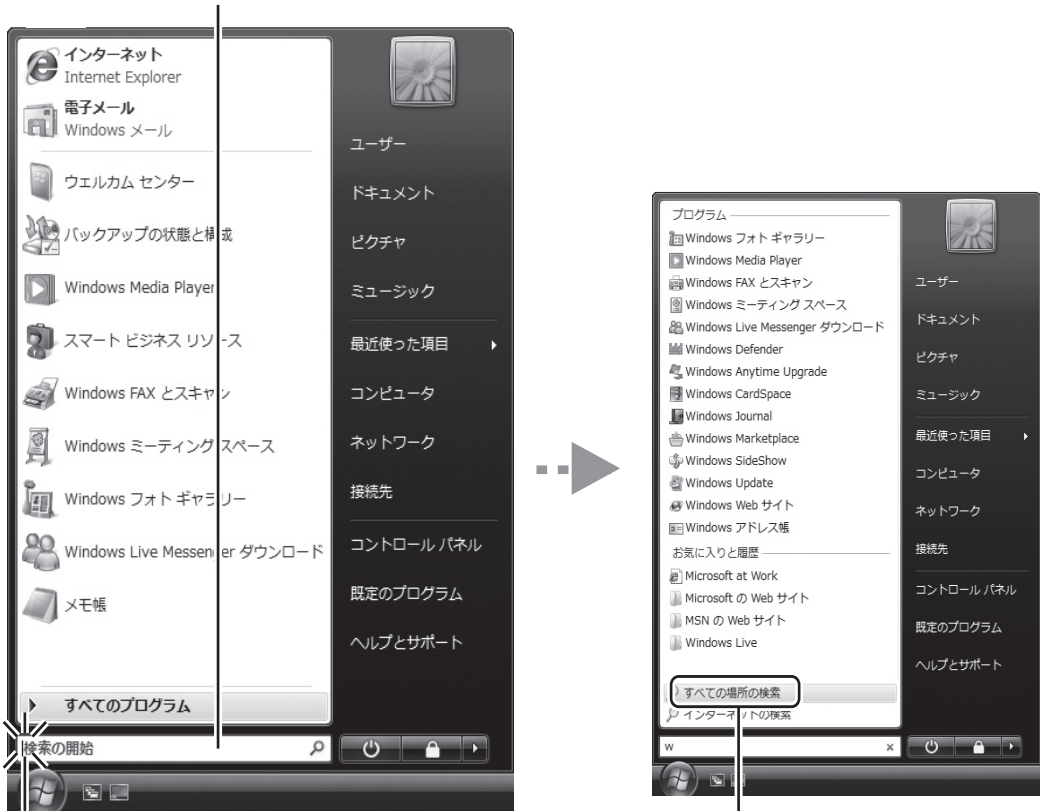
項目をクリックするごとに、新しいウィンドウが別の位置に表示されていました。
Windows Vista では、[スタート]メニューのウィンドウは1つだけ表示され、その中で表示内容が変わります。

[スタート]メニューを使う

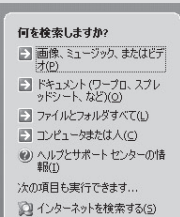
検索ボックスを使う

プログラム、ファイル、電子メール、ブラウザーソフトの履歴に保存されたWebサイトなど、幅広く検索できます。

[スタート]メニューの検索ボックスに、探したい項目の名前を入力する。

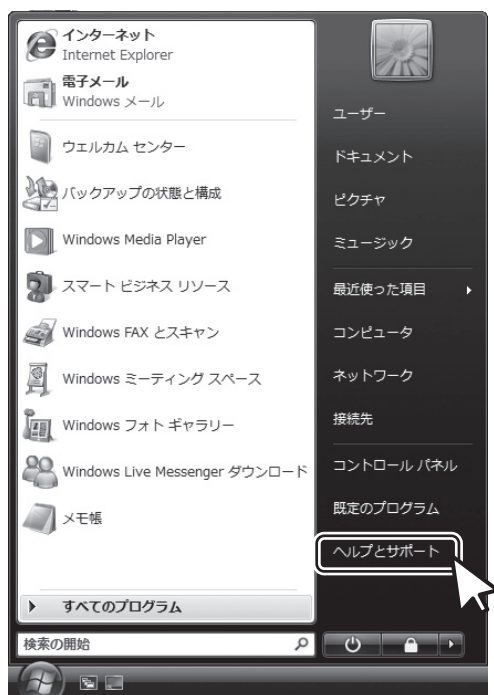
1文字入力するたびに、その文字列を含む項目が画面に表示されます。
目的の項目が見つかったら、その項目をクリックしてください。

カーソルが点滅しているときは、検索ボックスをクリックしなくても文字入力できます。

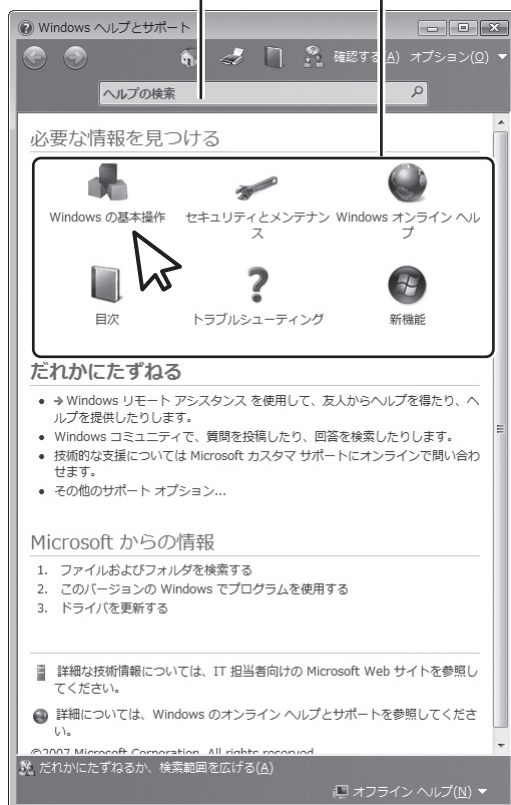
目的の項目が表示されない場合は、[すべての場所の検索]をクリックしてください。
別のウィンドウが表示され、さらに詳細な検索を行えます。

Windows XPでは

まず、どのような種類の項目を検索するか選択していました。
Windows Vista の[スタート]メニューの検索ボックスでは、すぐに多種類の項目を対象に検索できます。

「ヘルプとサポート」を使う

Windowsの操作がわからないときや、用語を調べたいときなどに使います。

1 [スタート]メニューの[ヘルプとサポート]をクリックする。

2 調べたい項目をクリックする。

検索ボックスに文字を入力し[Enter]を押すことで検索することもできます。

「ヘルプとサポート」はWindows Vistaの使い方を説明したものです。
パソコン本体の操作については、付属の『取扱説明書 基本ガイド』および『操作マニュアル』をご覧ください。

終了する

スリープ状態にする

作業状態をメモリーに保存してパソコンを終了します。
休止状態（➡ 15 ページ）よりも、起動するまでの時間が短くなります。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

2 をクリックする。

スリープ状態から復帰するには
パソコンの電源スイッチで電源を入れてください。
ログオン後、スリープ状態に入る前の状態に戻ります。

ロックする

他のユーザーが使えないよう、パソコンを一時的にロックします。
電源は切れず作業状態もそのまま残ります。
ロックを使用する場合はユーザーアカウントにWindowsパスワード（ログオン時のパスワード）を設定してください。（➡ 36 ページ）

1 （スタート）ボタンをクリックする。

2 をクリックする。

ロックを解除するには
パスワードを入力してログオンしてください。

シャットダウンする（電源を切る）

長時間パソコンを使わないときや、メモリーを追加･交換するときなどは、パソコンの電源を切ってください。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

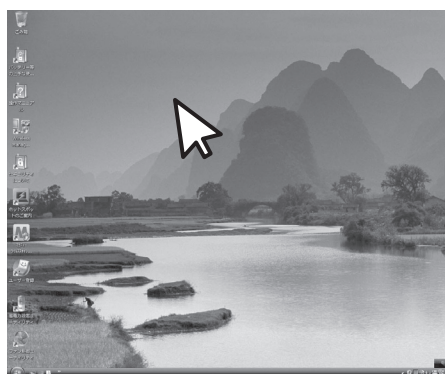
2 ▶ をクリックし、[シャットダウン]をクリックする。

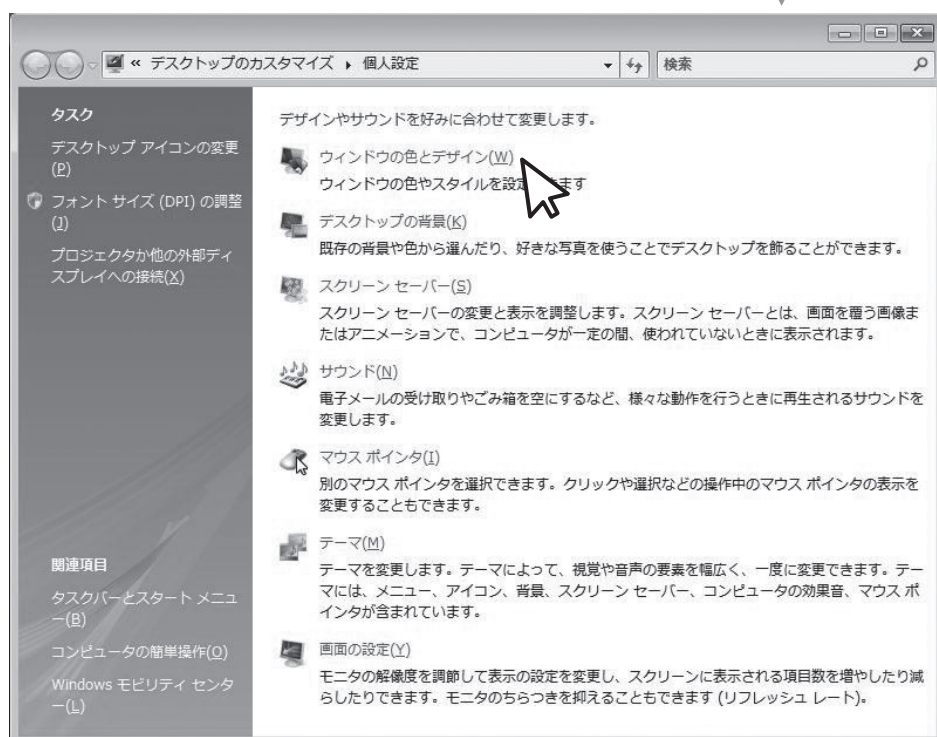
その他の終了メニュー について

デスクトップをデザインする

個人設定画面を表示する

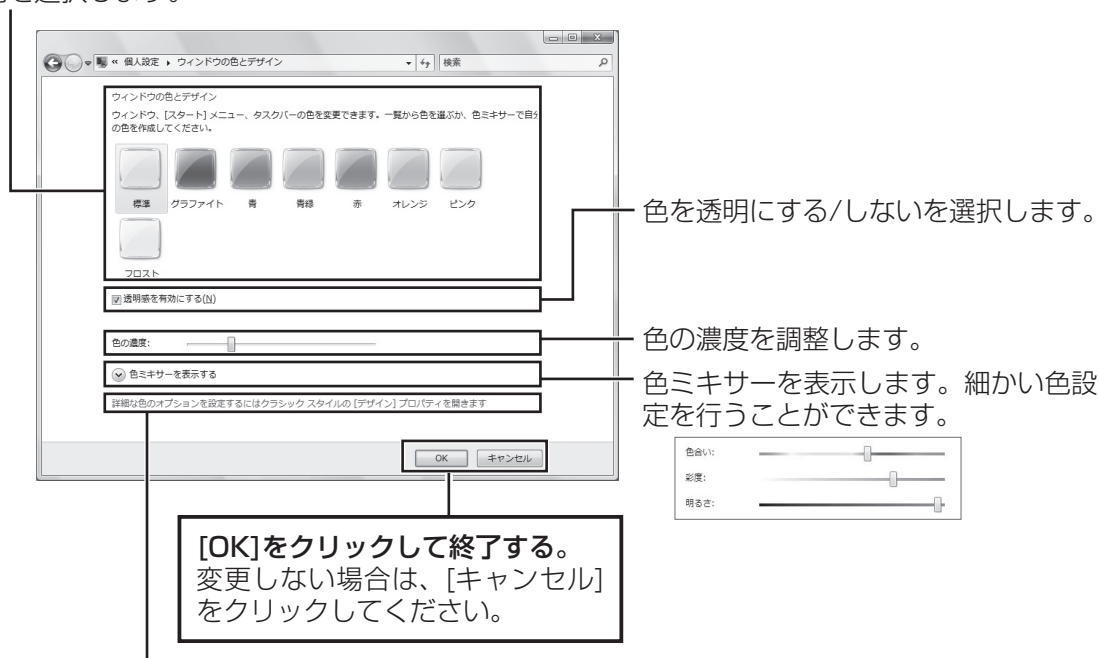
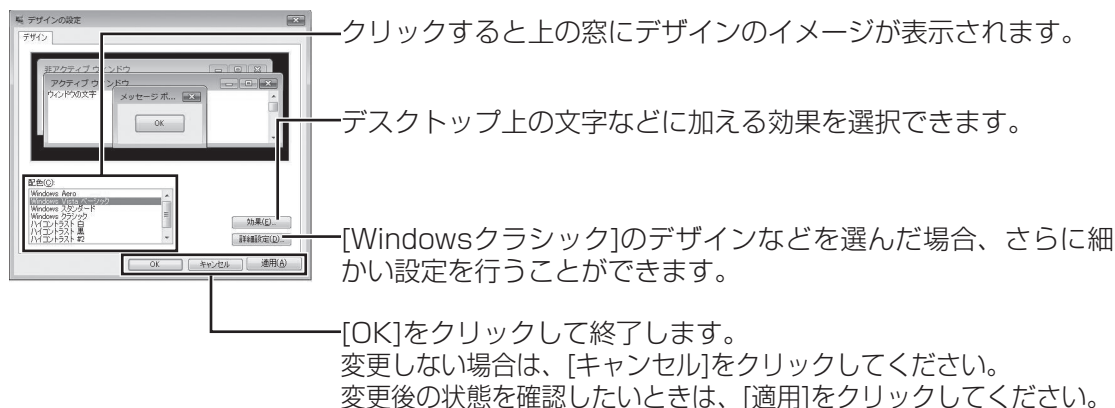
ウィンドウの色、デスクトップの背景（壁紙）、起動時のサウンドなど、ユーザーアカウントごとにデザインを変更することができます。

1 デスクトップ上のアイコンなどがない場所で右クリックする。

2 [個人設定]をクリックする。

3 設定する項目をクリックする。
(➡ 各設定については17 ～ 22ページ)

ウィンドウの色とデザインを変える

フォルダーやメッセージボックスなどの色やデザインを選ぶことができます。

16ページの手順3で[ウィンドウの色とデザイン]をクリックします。

色を選択します。

[Windows Aero]以外を選択するときにクリックします。
以下の画面が表示されます。

メモ

- ●画面の色を16ビットに設定していると、Windows Aeroに設定できません。
- ●省電力設定ユーティリティで[省電力レベル：高]を選択すると、自動的にWindows Aeroが解除され画面の色が16ビットに設定されます。
- ●[Windows Aero]を使用するとバッテリーの駆動時間が短くなります。必要に応じて[Windows Aero]以外に設定してください。
- ●ウィンドウを立体表示するなどの操作は[Windows Aero]以外ではできません。

デスクトップの背景（壁紙）を変える

お買い上げ時に用意されている画像だけでなく、デジカメで撮影した写真データなども壁紙に使うことができます。

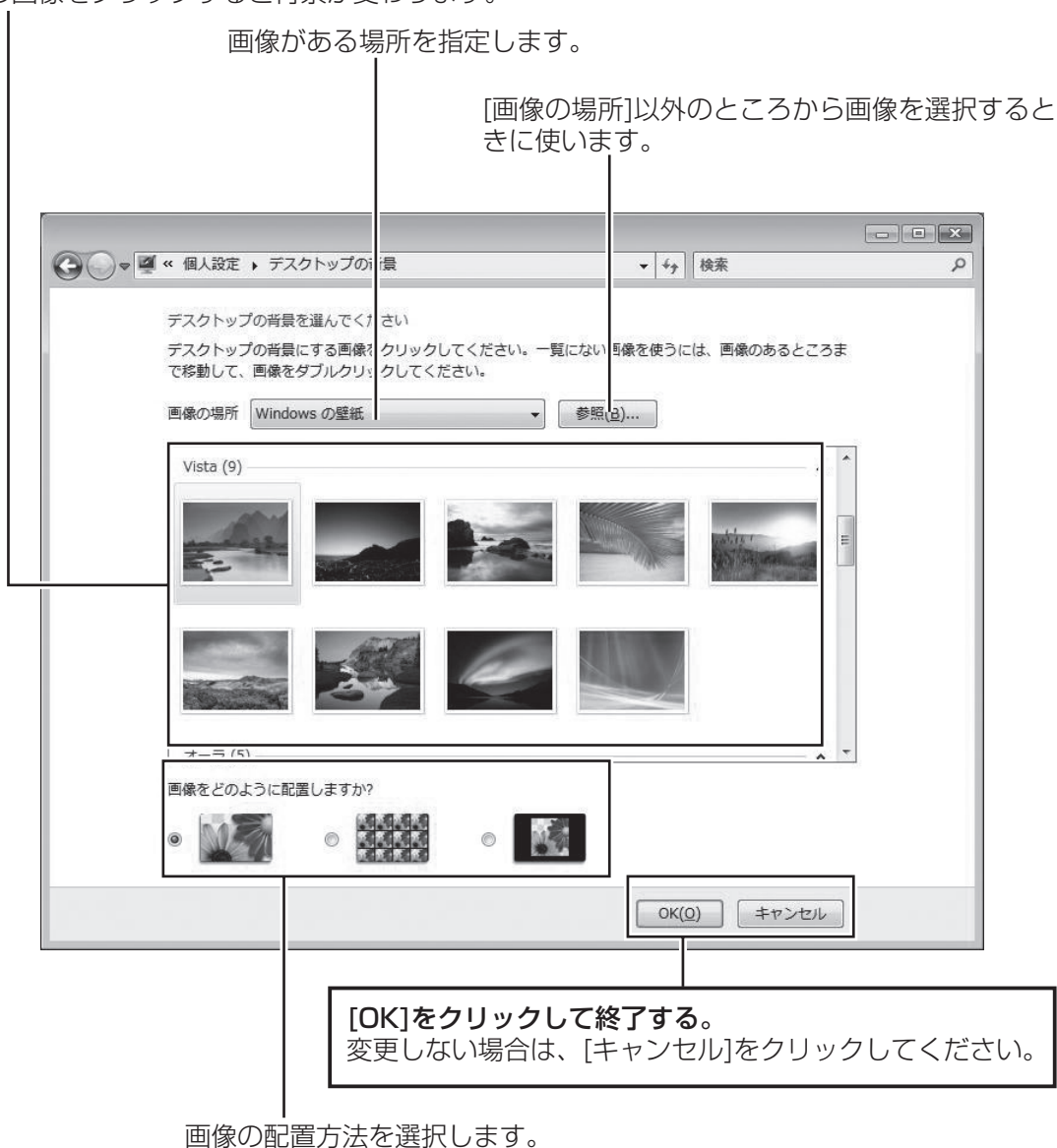
16ページの手順3で[デスクトップの背景]をクリックします。

好みの画像をクリックすると背景が変わります。

画像がある場所を指定します。

[画像の場所]以外のところから画像を選択するときに使います。

[OK]をクリックして終了する。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

画像の配置方法を選択します。

デスクトップの背景に指定した画像を別のフォルダーに移動したり削除したりすると、次回起動時に画像が表示されなくなります。

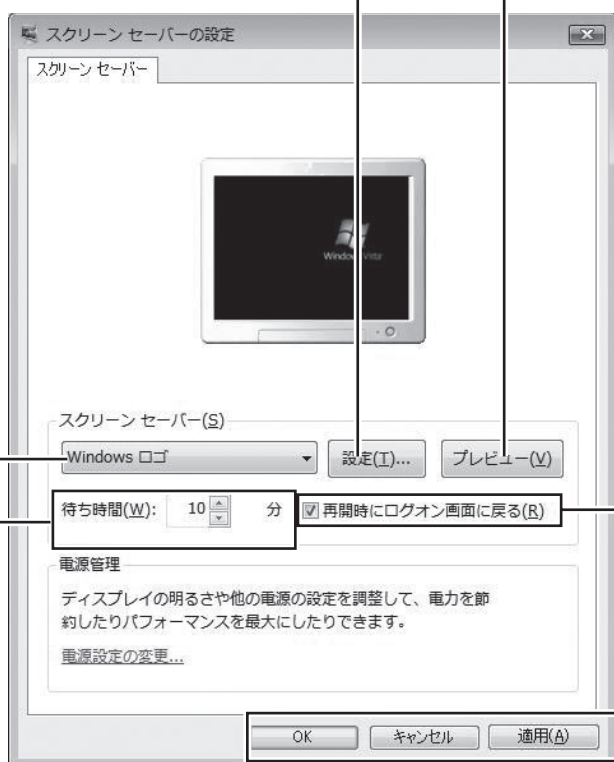
スクリーンセーバーを変える

スクリーンセーバーの種類や、スクリーンセーバーに移行するまでの待ち時間などを変更できます。

16ページの手順3で[スクリーンセーバー]をクリックします。

スクリーンセーバーの種類を選択します。

選択したスクリーンセーバーによっては、さらに細かい設定が行えます。

選択したスクリーンセーバーを確認することができます。

✓マークを付けておくと、スクリーンセーバー解除時にログオン画面を表示させることができます。

[OK]をクリックして終了する。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

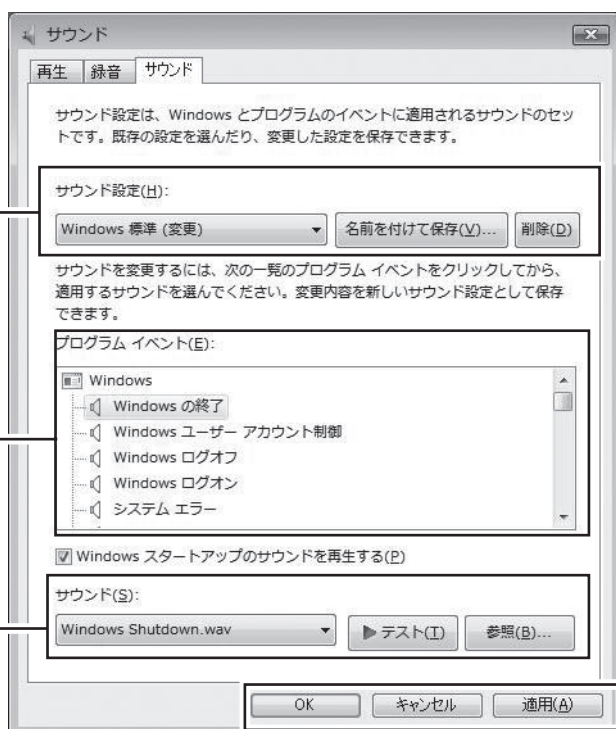
パソコンを操作しなかったときにスクリーンセーバーに移行するまでの待ち時間を設定できます。

サウンドを変える

ログオン・ログオフ時や、操作エラー、メッセージ表示など、いろいろな場面で鳴らす音を選択することができます。

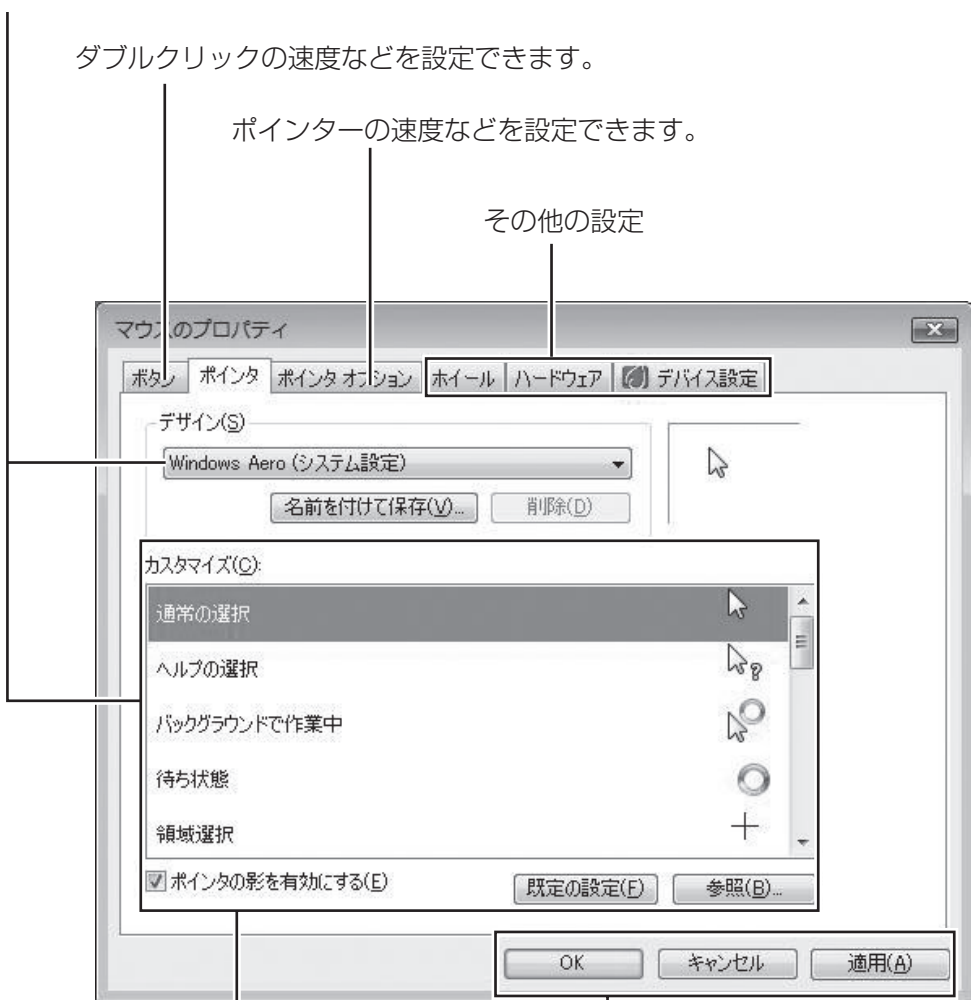
16ページの手順3で[サウンド]をクリックします。

[プログラムイベント]で音を鳴らす場面を選択し、[サウンド]で音を選択します。
[（なし）]を選択すると音が鳴りません。
[テスト]をクリックすると、音を確認することができます。
[サウンド]の一覧に表示されていない音を選択するには、[参照]をクリックします。

変更したサウンド設定に名前を付けて保存できます。（お買い上げ時は[Windows標準]）
保存した後でも、音を変更したり、サウンド設定を削除したりできます。

[OK]をクリックして終了する。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

マウスポインターを変える

ポインターの種類を選択したり、操作中の特定の場面でいろいろな形に変化させることができます。

16ページの手順3で[マウスポインタ]をクリックします。

[OK]をクリックして終了する。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

ポインターの形を場面ごとに変更する場合は、[通常の選択]などの場面をクリックし、[参照]をクリックしてデザインを選択してください。
変更した設定は、[名前を付けて保存]で保存したり、削除したりできます。

テーマを変える

「ウィンドウの色とデザイン」、「デスクトップの背景」、「スクリーンセーバー」、「サウンド」、および「マウスポインタ」の各設定をまとめて、テーマとして保存することができます。
テーマはいくつも作成し、選択することができます。

16ページの手順3で[テーマ]をクリックします。

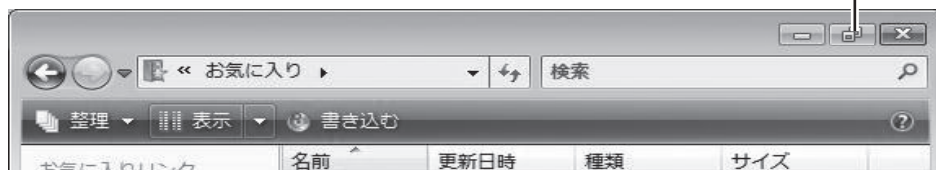
[名前を付けて保存]で、現在のデスクトップの状態をテーマとして保存します。
[テーマ]で選択するたび、[サンプル]にウィンドウの色とデザインおよび背景が表示されます。

[OK]をクリックして終了する。
変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。
変更後の状態を確認したいときは、[適用]をクリックしてください。

ウィンドウを操作する

ウィンドウのサイズを変える / ウィンドウを閉じる

最小化する
タスクバーに格納されます。
元の大きさに戻すには、タスクバーボタンをクリックしてください。

最大化したウィンドウを元の大きさに戻すにはここをクリックするか、ウィンドウ上部のバーをダブルクリックします。

ウィンドウを好みの大きさにするには

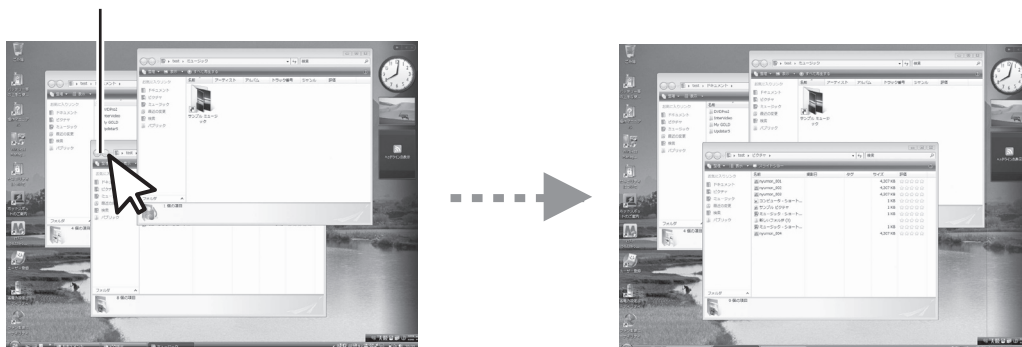
拡大したい（または縮小したい）方向の端をドラッグします。
（図は右下に拡大/縮小する場合の操作です。）

ウィンドウを操作する

ウィンドウを切り替える

複数のウィンドウが重なって表示されているとき、作業したいウィンドウを手前に切り替えるには、次のような方法があります。

見えている部分をクリックする

例：上から2番目にあるウィンドウをクリックした場合

タスクバーボタンをクリックする

タスクバーのアイコンを使う

クリックするとすべてのウィンドウがタスクバーに格納されます。
もう一度クリックすると元の状態に戻ります。

Windows Aeroの場合は
クリックするとウィンドウが立体表示になります。

Windows Aero以外の場合は
クリックするとウィンドウを選択する画面が表示されます。選択画面でウィンドウのアイコンをクリックすると、目的のウィンドウが表示されます。

ショートカットキーを使う

Alt + Tab または ⊞ + Tab（Windows Aeroの場合のみ）でウィンドウを切り替えることができます。

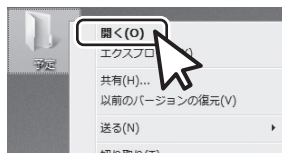
フォルダーやファイルを操作する

フォルダーを開く

デスクトップ上のフォルダーと、フォルダー内にあるフォルダーは、同様の操作で開くことができます。

フォルダーをダブルクリックする。

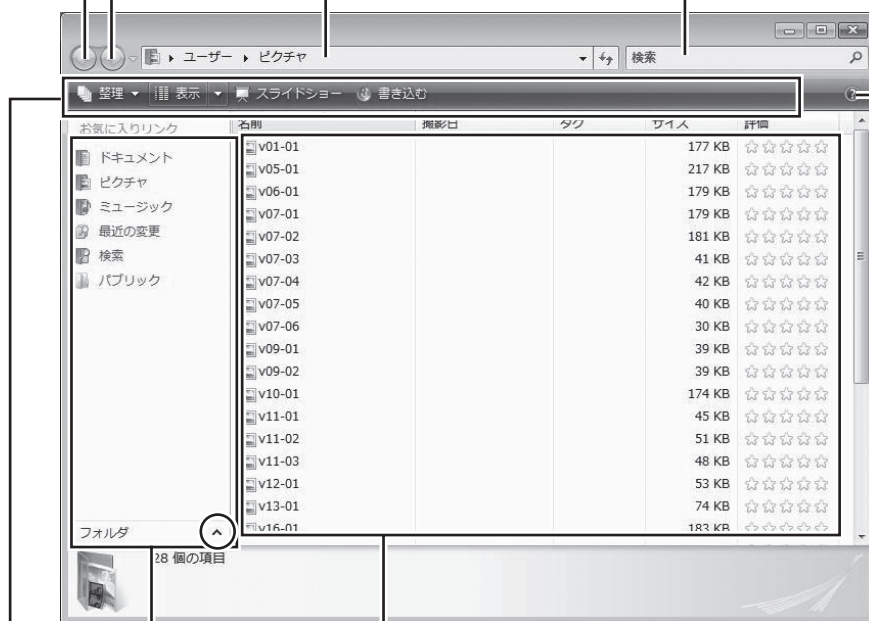
または

フォルダーを右クリックし、[開く]をクリックする。

フォルダーの表示について

前の画面に戻ります。

次の画面に進みます。

フォルダーの検索ボックス
(➜ 28 ページ)

フォルダーの名前

フォルダー操作のヘルプを表示します。

フォルダーの内容

各フォルダーをクリックすると内容が表示されます。
目的のフォルダーが表示されていないときは、 ^ をクリックして探してください。

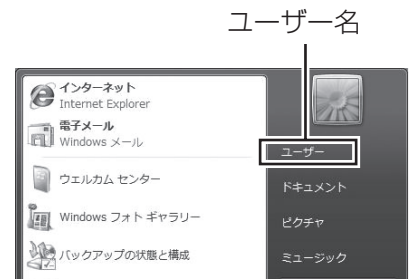
フォルダーの内容に応じた作業のメニューが表示されます。

フォルダーやファイルを操作する

各種フォルダーについて

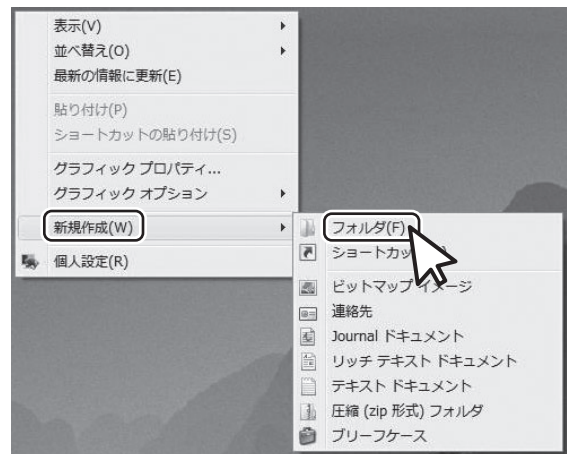
お買い上げ時、すでに[ドキュメント]、[ピクチャ]など数種類のフォルダーが用意されています。
[スタート]メニューのユーザー名をクリックすると、これらのフォルダーをすべて表示することができます。

データを作成したりダウンロードしたときなどは、保存先を指定する画面で、データの種類に合ったフォルダーが表示されます。

ユーザー名

新しいフォルダーを作る

デスクトップ上またはフォルダーの中に新しいフォルダーを作るには、次の方法があります。

右クリックを使う

デスクトップ上、またはフォルダー内のファイル表示などがない場所で右クリックし、[新規作成]-[フォルダ]をクリックする。
新規フォルダーのアイコンが作成されます。「新しいフォルダ」の文字が反転していますので、フォルダー名を入力してください。

フォルダーのメニューを使う

フォルダー内に新しいフォルダーを作ります。

[整理]をクリックし、[新しいフォルダ]をクリックする。
新規フォルダーのアイコンが作成されます。「新しいフォルダ」の文字が反転していますので、フォルダー名を入力してください。

フォルダー内の表示方法を変える

フォルダー内のファイル表示のしかたを変更することができます。

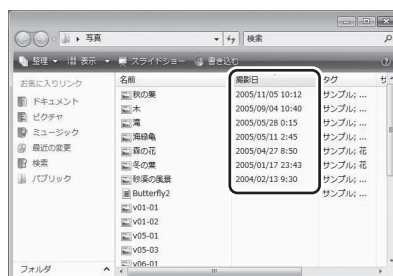
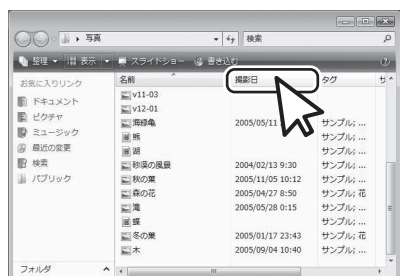
1 ▼ をクリックする。

2 表示方法を選ぶ。

ここをクリックするたびに表示の
しかたが切り替わります。

特大アイコン、大アイコン、中アイコン、並べて表示
ファイルのイメージがわかりやすく表示されます。

小アイコン、一覧
一度に多くのファイルを表示させることができます。

詳細
ファイルのサイズや種類など、詳しい情報データを表示させることができます。
ファイル一覧の上の表示（名前、サイズなど）をクリックすると、クリックした情報に応じてファイルを整列させることができます。（下図は、撮影日のデータがある画像ファイルを整列させたときの例）

フォルダーやファイルを操作する

フォルダー内を検索する

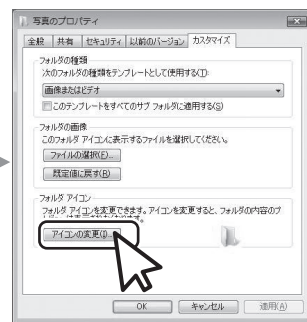
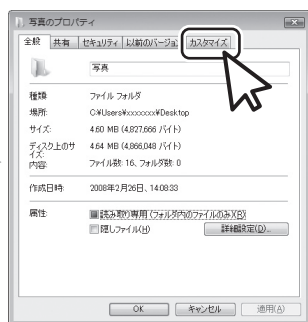
ファイルやフォルダーの名前を入力します。
1文字入力するたびに、一致した結果が順次表示されます。

見つからないときは、ここをクリックしてください。
条件を指定して検索することができます。

フォルダーのアイコンを変える

1 フォルダーのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

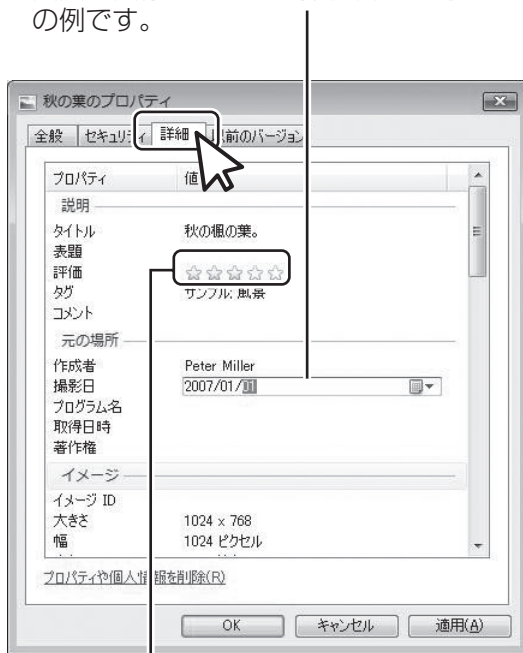
2 [カスタマイズ]をクリックする。

3 [アイコンの変更]をクリックする。

4 アイコンをクリックし、[OK]-[OK]をクリックする。

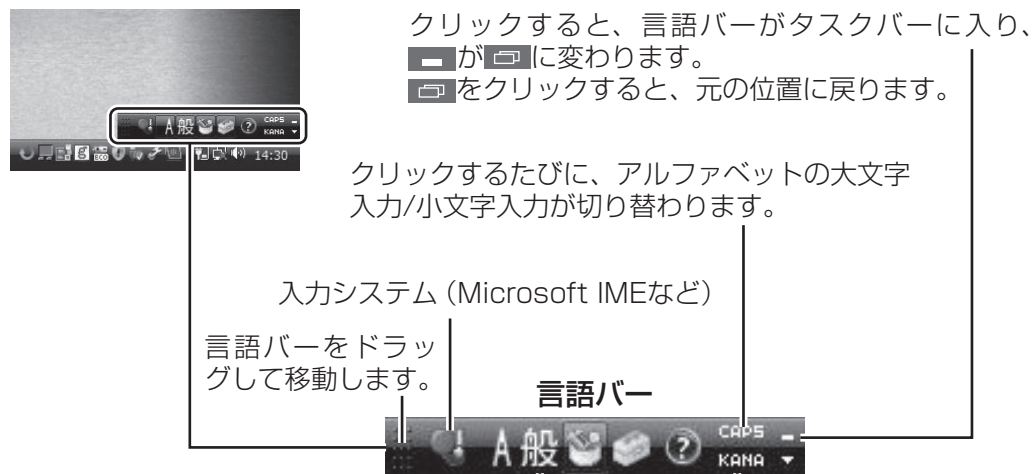
ファイルに各種情報を添付する

文書や画像などのファイルに情報を添付しておくと、ファイルの整理や検索をするときに役立ちます。
添付できる情報はファイルの種類によって異なります。

1 ファイルを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

2 [詳細]をクリックし、右側のスペース部分をクリックして情報を入力する。
画面は画像ファイルの撮影日を入力する場合の例です。

[評価]は、評価なしも含めて6段階です。お気に入りのレベルを示す場合などに利用できます。（例えば最高評価ならば5つ目の星をクリックします。）

文字入力のしかた

文字入力でよく使う機能について説明します。

入力モード（入力する文字の種類）を選択する

表示	入力モード
あ	ひらがな
カ	全角カタカナ
A	全角英数
_ｶ	半角カタカナ
A	半角英数

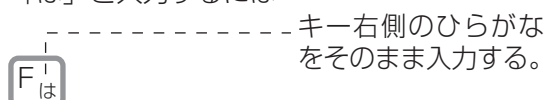
半角/全角を押すと、[半角英数]とその他の入力モードを切り替えることができます。

入力方法を切り替える

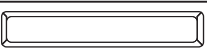
ローマ字入力
[KANA]の表示が白い状態のとき
例：「は」と入力するには

ローマ字のつづりをキー左側のアルファベットで入力する。

かな入力
[KANA]の表示が色付き状態のとき
例：「は」と入力するには

キー右側のひらがなをそのまま入力する。

文字変換のモードを選択する

表示	変換モード	用途
般	一般	通常使用するモード
名	人名/地名	人名帳、住所録など
話	話し言葉優先	会話調の文章、顔文字など
無	無変換	変換キーを使わずにそのまま入力するとき

キー上の文字を入力するには（下図は一例です）

文字入力でよく使うキー（用途は一例です）

キー	用途
Enter（エンターキー）	●文字を確定する。 ●改行する。
（スペースキー）	●カタカナや漢字に変換する。 ●空白を入れる。
Back space（バックスペースキー）	●カーソルの左側の文字を消す。 ●改行を取り消す。
Del（デリートキー）	●カーソルの右側の文字を消す。 ●改行を取り消す。
⇧ Shift または ⇧ Shift（シフトキー）	他のキーと組み合わせて使う。 ●Shiftを押しながらアルファベットキーを押すと大文字で入力される。 ●Shiftを押しながら数字キーまたは記号キーを押すと、キーの上部に印字されている文字が入力される。
← → ↑ ↓	●カーソルを動かす。
半角/全角	●「半角英数」入力モードとその他のモードを切り替える。
Caps Lock 英数	●「英数」入力モードに切り替える。 ●Shiftを押しながらCaps Lock 英数を押した後にアルファベットキーを押すと、常に大文字で入力される。（Caps Lock状態といいます〈Aが点灯〉。この状態で小文字を入力するにはShiftを押しながらアルファベットキーを押してください。）

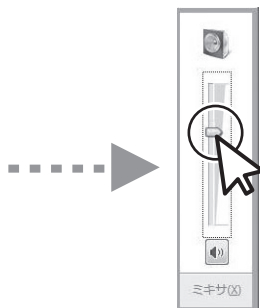
記号や特殊文字を入力する（下表は一例です）

～（チルダ、ニョロ）	「英数」入力モードでShiftを押しながら ~ ^ へ を押す。
_（アンダーバー、アンダースコア）	「英数」入力モードでShiftを押しながら _ \ ろ を押す。
\（バックスラッシュ）	_ \ ろ（文字フォントによっては「¥」と表示されます。）
欧文・学術・ギリシャ文字や、アッパーバー（￣）、々などの一般記号	「ひらがな」「カタカナ」入力モードで「きごう」または「キゴウ」と入力し、スペースキーを2回押して、表示される一覧の中から目的の記号を選ぶ。

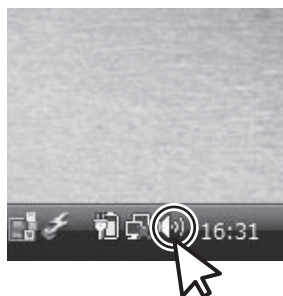
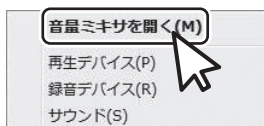
音量を調整する

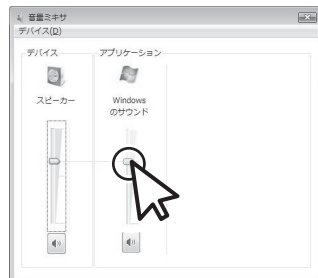
スピーカーの音量を調整する

1 🔊をクリックする。

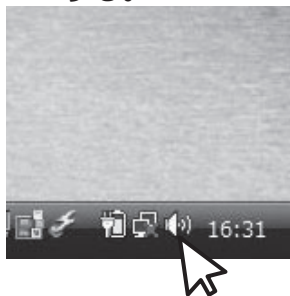
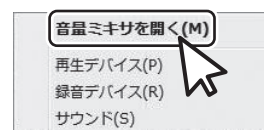
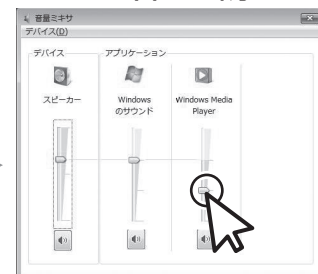
2 スライダーを上下させて音量を調整する。

Windowsサウンドの音量を調整する

ログオンやメッセージ表示などさまざまな場面で鳴らす音の音量を調整します。

1 🔊を右クリックする。

2 [音量ミキサを開く]をクリックする。

3 スライダーを上下させて音量を調整する。

Windows Media PlayerやWinDVD*1の音量を調整する

Windows Media PlayerやWinDVD*1 の起動中に調整できます。

1 🔊を右クリックする。

2 [音量ミキサを開く]をクリックする。

3 スライダーを上下させて音量を調整する。

Windows Media Playerを起動中の場合

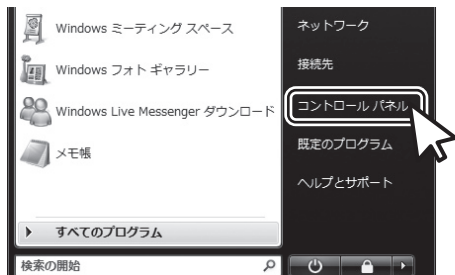
*1 WinDVDは、CD/DVDドライブ内蔵モデルにのみインストールされています。

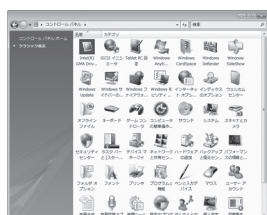
コントロールパネルで各種設定を変える

プログラムの削除や電源プランの設定など、パソコンの基本的な設定を行うことができます。

コントロールパネルを表示する

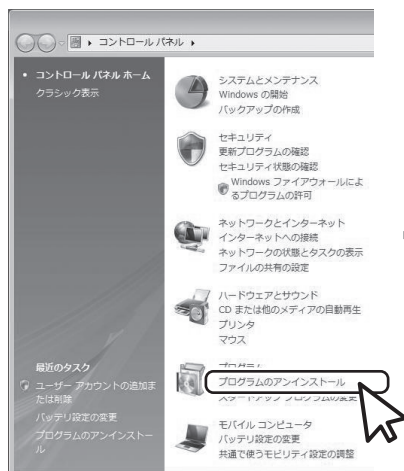
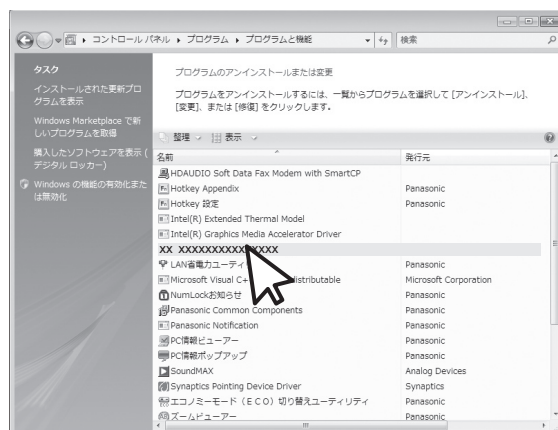
1 （スタート）ボタンをクリックする。

2 [コントロールパネル]をクリックする。

3 設定したい項目をクリックする。

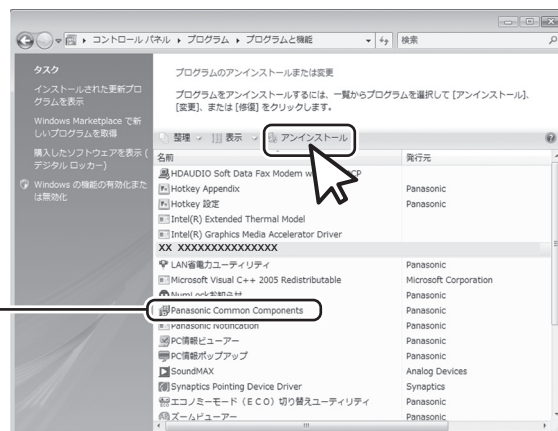
Windows 2000 など、以前のWindowsの表示形式に変わります。
元の表示に戻すには、[コントロールパネルホーム]をクリックしてください。

Windows XPでは

コントロールパネルを表示すると、最初に種類分けされた項目が表示され、項目をクリックすると各種設定が表示されました。
Windows Vistaでは、種類分けされた項目の下に主な設定が表示されています。

プログラムを削除（アンインストール）する

1 コントロールパネルの[プログラムのアンインストール]をクリックする。

2 削除するプログラムをクリックする。

3 [アンインストール]をクリックする。

プログラムによっては[アンインストールと変更]と表示されます。
以降は画面の指示に従ってください。

Panasonic Common Components は削除しないでください。
パナソニックが提供する各種アプリケーションソフトが使えなくなります。

Windows XPでは

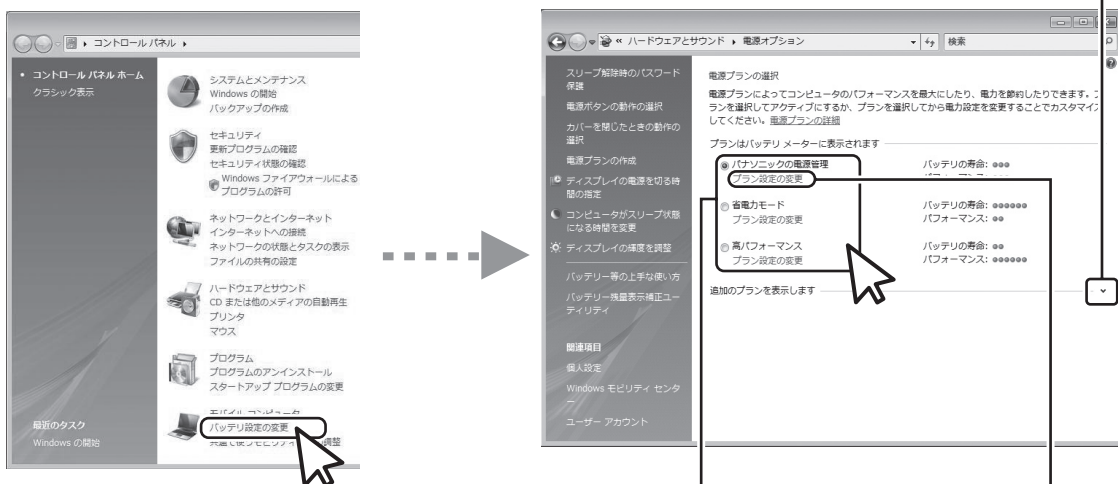
[プログラムの追加と削除]で行っていました。
Windows Vistaでは、古いプログラムの検出やスパイウェアの検出など、プログラムについての各種操作を行う[プログラム]という項目の中に統合されています。

電源プランを設定する

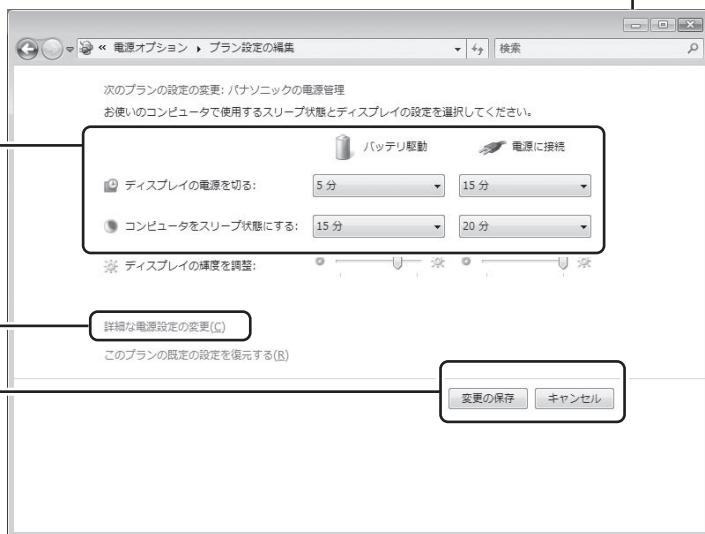
「パソコンを家庭で使う」、「パソコンを持ち歩く」などの用途に合わせて省電力の方法を変えることができます。

1 コントロールパネルの[バッテリ設定の変更]をクリックする。

2 設定したい電源プランをクリックする。

クリックすると、追加のプランが表示されます。

プラン名の左の をクリックして に変えることで、電源プランが切り替わります。

[プラン設定の変更]をクリックすると、設定されている時間を変更することができます。

[ディスプレイの電源を切る]までの時間と[コンピュータをスリープ状態にする]までの時間を、[バッテリ駆動]と[電源に接続]のそれぞれで設定します。

さらに詳細な設定ができます。

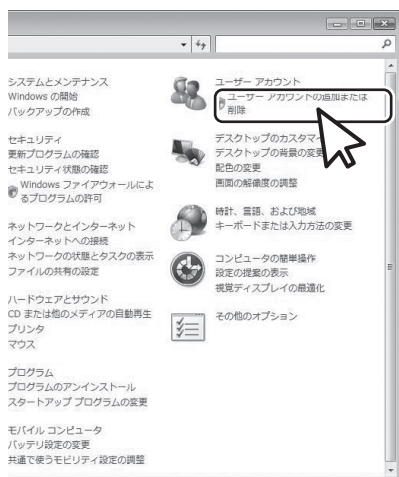
変更を確定するには[変更の保存]をクリックしてください。変更しない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

詳しくは、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「最適な電源設定をする（電源プラン）」をご覧ください。

コントロールパネルで各種設定を変える

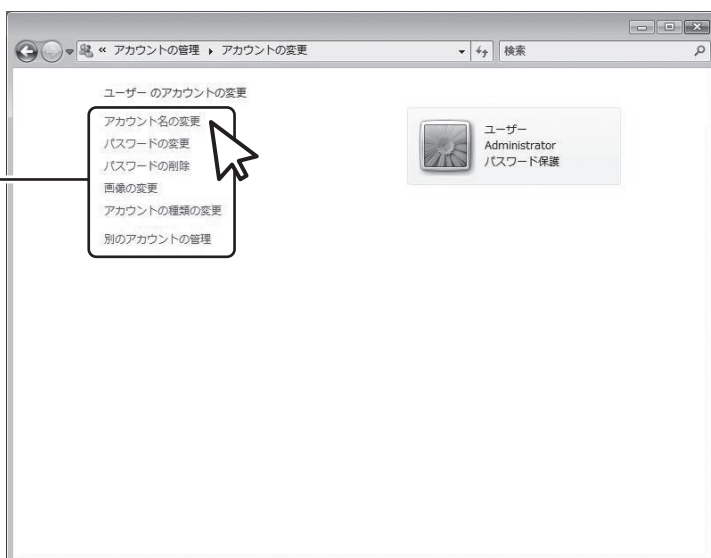
ユーザーアカウントを設定する

ユーザー名やパスワードの変更、ユーザーアカウントの追加などが行えます。

1 **コントロールパネルの[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックする。**

2 **変更するアカウントをクリックする。**

ユーザーを追加する場合は、[新しいアカウントの作成]をクリックし、画面の指示に従ってください。

3 **変更したい項目をクリックする。**
以降は画面の指示に従ってください。

表示内容はユーザーアカウントの設定状態によって異なります。

その他の便利な機能

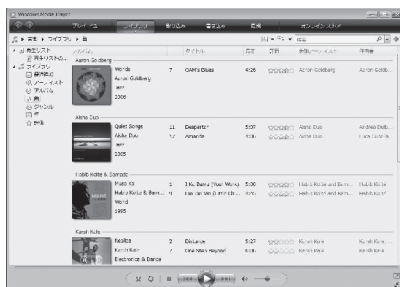
インターネットや電子メールを楽しむ「Internet Explorer」「Windowsメール」

Windows Vistaには、Webページを閲覧する「Internet Explorer」や、電子メールを送受信する「Windowsメール」が用意されています。

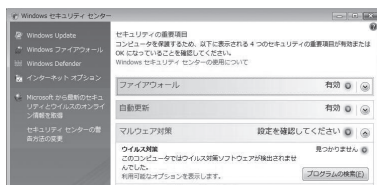
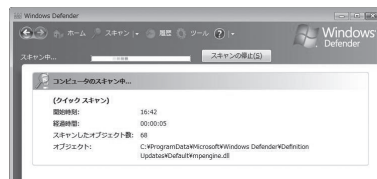
接続・設定のしかたや操作方法については、『操作マニュアル』およびWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

音楽や映像を楽しむ「Windows Media Player」

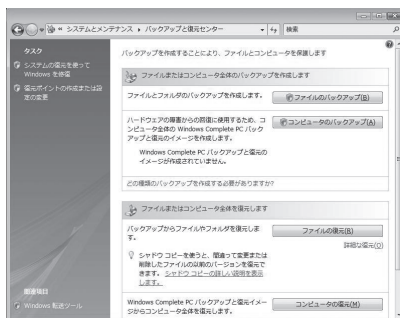
Windows Vistaには、音楽CDや映像ファイルを再生する「Windows Media Player」が用意されています。

操作方法については、『操作マニュアル』およびWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

パソコンのセキュリティを高める「Windows Defender」「マルウェア対策」

Windows Defenderの機能により、スパイウェアを検出・駆除できます。
また、インストールしたウイルス対策ソフト（マカフィー®ウイルススキャンなど）の動作を監視する「マルウェア対策」も用意されています。

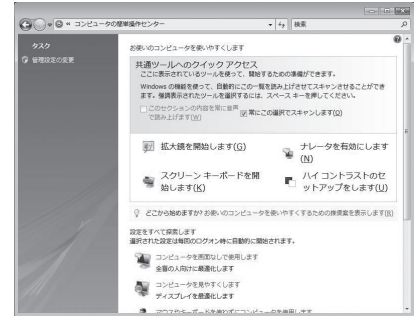
詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[セキュリティ]の[Windows Defender]や、[コントロールパネル]-[セキュリティ]-[セキュリティセンター]の[マルウェア対策]をご覧ください。

パソコンのデータを守る「バックアップと復元センター」

ハードディスク全体のバックアップや、ファイルの種類を指定したバックアップを自動的に行うことができます。

詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[システムとメンテナンス]の[バックアップと復元センター]をご覧ください。

その他の便利な機能

パソコンを使いやすくする

画面の一部を拡大したり、操作を音声で読み上げるなどの設定を行うことができます。
また、パソコンの音声認識機能を使って操作する設定なども行えます。

詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[コンピュータの簡単操作]の[コンピュータの簡単操作センター]および[音声認識オプション]をご覧ください。

モバイルパソコンの設定を便利にする「Windowsモビリティセンター」

ディスプレイの明るさや、音量、電源管理など、モバイルパソコンでよく行う設定を1つの画面にまとめています。

詳しくは、（スタート）-[コントロールパネル]-[モバイルコンピュータ]の[Windowsモビリティセンター]をご覧ください。

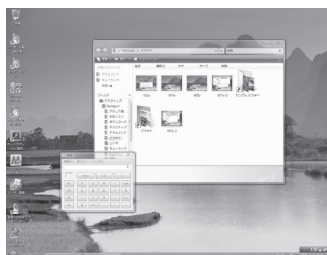
Windows Vista の代表的な機能

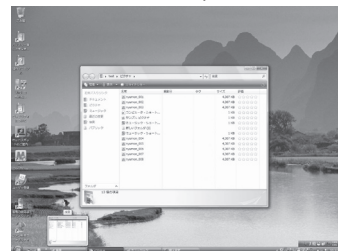
ここでは、Windows Vistaの代表的な機能を紹介します。

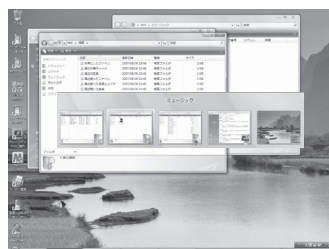
Windows Aero（エアロ）

Windows Vistaに搭載された、新しいウィンドウのデザインです。操作を便利にするさまざまな新機能もあります。

Aero グラス

ウィンドウがガラスのように半透明になります。これにより他のウィンドウを確認しやすくなります。

タスクバーのサムネール

後ろにあるウィンドウや、最小化によりタスクバーに格納されているウィンドウの内容が、タスクバーのタイトル上にマウスポインターを合わせることで、サムネール（画像イメージ）状に現在の状態を表示します。（ライブサムネール）

Windows フリップ

【Alt】+【Tab】を押すとライブサムネールがフリップ内に表示されます。これにより目的のウィンドウへ簡単に切り替えることができます。

Windows フリップ 3D

開いている複数のウィンドウを立体に重ねて表示できます。このとき【Windows】+【Tab】を押すと、開いているウィンドウを順に切り替えることができます。

Windowsフォトギャラリー

画像や動画を管理するためのアプリケーションソフトで、Windows Vistaに標準で用意されています。工場出荷時の設定では、「ピクチャ」フォルダーにあるすべての画像と動画が表示されます。
撮影日やフォルダー別にファイルを管理でき、新しくフォルダーを追加することもできます。

Windowsメール

Windows XPに標準で用意されていたOutlook Express 6に代わり、Windows Vistaに標準で用意されているメールソフトです。
迷惑メールやフィッシング（ID､パスワードなどの個人情報を盗もうとする詐欺）メールを自動的に識別するメールフィルターなどが用意されています。

Windows Vista の代表的な機能

ウェルカムセンター

ログオン後に自動的に表示される画面です。インターネットの接続設定やユーザーアカウントの設定、Windowsのオンラインユーザー登録など、最初によく行う項目が用意されています。
（➜ 4ページ）

ガジェット

Windows Vistaに用意されている時計、スライドショー、フィードヘッドラインなどの小さなプログラムのことです。
他にもカレンダー、ピクチャパズル、天気などがあり、新しいガジェットをダウンロードなどで追加することもできます。
（➜ 8 ～ 9ページ）

サイドバー

ガジェットを表示させるためのデスクトップ右端の領域です。
サイドバーごと非表示/表示を切り替えることができます。
（➜ 8 ～ 9ページ）

スリープ状態

現在の作業の状態をメモリーに保存して電源を切ることができ、次に電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態が画面に表示される機能のこと。
休止状態よりも早く作業を再開することができます。
（➜ 14ページ）

松下電器産業株式会社　IT プロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

SS0408-0
DFQX5680ZA

Printed in Japan